

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

兵庫県加東市
が応援するふるさと名物

播州織

～200年を超える伝統の
先染めの魅力を伝えます～





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言！

平成29年3月10日

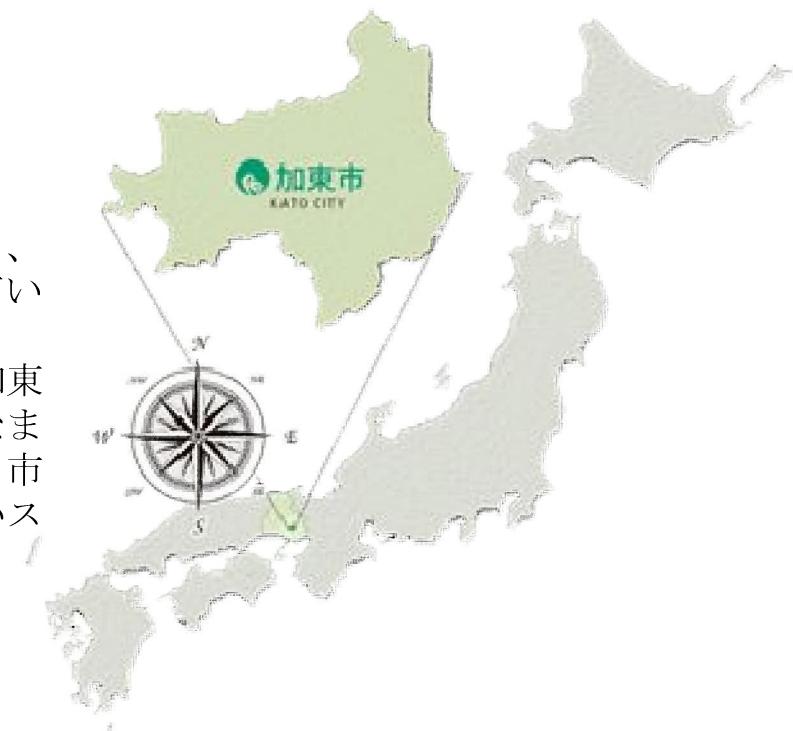
兵庫県加東市

加東市の プロフィール

加東市は、兵庫県中央部やや南よりに位置しています。

加古川と東条川の中流域に形成された広大な嬉野台地が広がり、
西部から南部にかけての加古川流域には肥沃な平野が形成されています。

平成18年3月20日に、社町、滝野町、東条町が合併して加東市となり、「山よし！技よし！文化よし！夢がきらめく☆元気なまち 加東」をキャッチフレーズに加東の土台づくりに取り組み、市制10周年を迎える、さらなるステップアップを図るために、新しいステージ加東を築きます。

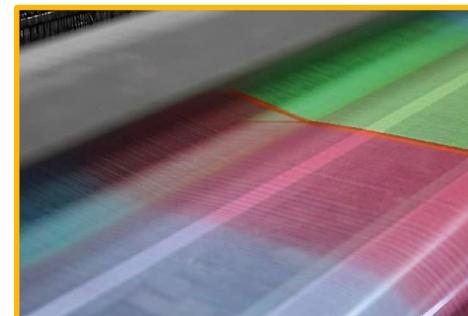


加東市の紹介

◆加東市の特産品

加東市は、酒蔵好適米「山田錦」の最高の産地です。日本酒の最高級の原料として全国各地に出荷されているほか、200年以上受け継がれている「播州織」、国内生産量9割のシェアを誇る「播州針」、明治から引き継がれている「播州鯉」、「ひな人形」など職人の技を煌めかせています。

また、2,500本もの樹から採れる「やしろの桃」は完熟桃で糖度が高く、美味しいと評判です。



主な地域資源

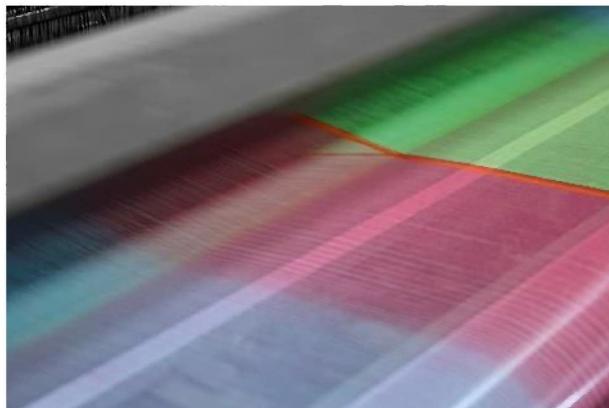
1 主な地域資源

◆播州織

兵庫県の北播磨地域を中心に製造される200年以上の歴史を持つ綿織物です。糸を先に染めてから織る「先染め」が特長で、染色した糸の配置を綿密に計算することにより様々な模様を織りで表現することができます。

国産の綿織物の約2割、先染織物に限ると約7割を占めています。自然な風合いと豊かな色彩、肌触りの良さが特徴で、その品質の高さが認められ、海外ブランドの生地にも採用されています。

播州織は、江戸時代中期の寛政4年（1792年）、宮大工飛田安兵衛が京都の西陣から織物技術を習得し、この北播磨の地域に持ち帰り、綿織機が広まったと言われています。加東市が位置する北播磨地域は、温暖な気候と加古川をはじめとする染色業に必要な良質な河川に恵まれていたため、綿布の生産が盛んとなりました。



2

ふるさと名物

◆加東市の播州織

～長年に亘り、多数の生地を織って培った高い技術力と応用力～

○古くから伝えられた伝統と技術を守りつつ、新しい技術開発にも取り組み、オリジナルブランドを立ち上げて、ストールや日傘など最終製品をエンドユーザーに届け、播州織の魅力を発信しています。

○他産地とのコラボにも取り組み、新たな播州織の広がりを見せていきます。



長年培った技術力 職人の技



コットンストール



日 傘

3 市の応援策

◆ 繊維産業の普及振興・人材育成

北播磨地域の自治体及び関係団体によって構成される公益財団法人北播磨地場産業開発機構を通じて、繊維産業（播州織）を含む地場産業の健全な育成及び発展のため、地場産業の普及振興事業及び人材育成事業を支援します。

◆ 播州織の普及活動

加東市の特産品の一つとして、「播州織」を広くPRする広報活動を行います。具体的には加東市ふるさと納税の返礼品に「播州織」を指定するほか、パンフレットの作成、各種イベントへの出品等を通して、市内外への発信を行います。

